

月 別 稼 働 内 訳

施設名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～3月	計
福山少年自然の家	開所日数(日)	25	24	27	28	27	24	26	24	24	23	23	26		301
	1人役あたりの基準勤務日数(日)	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5	19.5		234
	必要労働者数(人役)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		—
	指導補助(非常勤)(1人役×日数)													60	60
	延べ日数(人役×日数)	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	60	996

【説明事項】

- 「開所日」の日数は、休所日を臨時開所する見込みの日数を加算したものです。臨時開所する日数は、利用団体の予約状況により変更する場合があります。
- 「1人役あたりの基準勤務日数」は、当該月において、1人役の労働者を施設に勤務させる基準とする日数です。
- 「必要労働者数」は、その月の業務を履行するために必要な最低限の労働者数(人役)です。
- 施設の休所日は週1日(月曜日)です。労働者の勤務をしない日は週2日に対応して結構です。
全ての開所日において必要労働者数を確保することを必須とはしないので、業務量に応じ、受託者の判断で勤務時間等の指示管理をしてください。
- 有給休暇の取得等により一時的に当該労働者が勤務できない場合で、その代わりとなる労働者の勤務がかなわず、必要労働者数を確保できない場合は、直ちに施設長に申し出てください。
ただし、このように緊急かつ一時的に労働者の確保ができなくなる事態を想定して事前に他の労働者の確保を行う必要はありません。
勤務させることができなかった日に代え、別の日に勤務させてください。
- 指導補助として、1人役を年間を通して、60日程度は勤務させてください。主にその職員は、指導補助及び所内の環境整備を中心に、勤務させてください。
- 月ごとの延べ日数を設定していますが、仮に日数が下回った月があった場合、それ以降の月で調整をしてください。

【例】

- 人材を確保する最低人数は、必要労働者数に示す4名で、基準勤務日数は、19.5日程度です。
- 必要労働者数は4名ですが、週休2日を確保するため、全ての開所日において4名全員の勤務を要するものではなく、1～3名の勤務を通常とします。